



第71号
6月定例会
平成27年7月17日

こんにちは

豊丘村議会 です



きれいになって
気持ちいいな～

天竜川河川愛護活動(7月5日)

6月定例会

国保税8年連続引上げ	2~3ページ
コミュニティ事業とは何か	4~5ページ
12人が一般質問	6~18ページ
委員会の報告	19~21ページ

◎ほほえみの送迎車購入等へ……………200万円
コミュニティ事業で採択になつた、社会福祉協議会「ほほえみ」で送迎に使用するリフト車の購入費を追加するものです。

◎自治会の備品購入へ……………200万円
宝くじ収益配分によるコミュニティ事業（以下コミニティ事業という）で採択になつた、上市場と北村両自治会の机・椅子等備品購入に対する交付金を、それぞれ100万円ずつ追加するものです。

◎ほほえみの送迎車購入等へ……………200万円
コミュニティ事業で採択になつた、社会福祉協議会「ほほえみ」で送迎に使用するリフト車の購入費を追加するものです。

◎地方創生関連事業費の26年度予算へ振替減額……………6,575万円
住宅リフォーム助成2000万円、プレミアム商品券1400万円、若い世代の住宅取得補助金1000万円、商工業振興・販路開拓補助500万円、出産祝い金494万円ほかが、国の26年度補正予算で認められたことから、26年度追加予算へ振替えるものです。

一般会計補正予算

今定例会で、開会日に上程された一般会計補正予算第1号（案）は、予算決算委員会へ付託され、最終日の本会議で可決されました。歳入歳出それ

ぞに845万円を追加し、歳入歳出総額をそれ

ぞれ40億6,045万円とするものです。主なものは……

採択された請願

●請願（20P参照）
・安全保障関連法案を国会で成立させないよう要請する請願について
　　請願者 神稻 鹿野 寛

●請願（21P参照）
・国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願について
　　請願者 豊丘村学校教職員組合
　　執行委員長 黒澤 隆

●請願（21P参照）
・義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願について
　　請願者 豊丘村学校教職員組合
　　執行委員長 黒澤 隆

●陳情（20P参照）
・TPPに関する国会決議の実現を求める陳情について
　　陳情者 みなみ信州農業協同組合
　　神稻 菅沼 和明

●陳情（21P参照）
・年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書の採択を求める陳情について
　　陳情者 日本労働組合総連合長野県連合会
　　神稻 池野 那沖

国会と政府に「意見書」を送付しました。



平成27年 第2回定例会

国保税、8年連続引上げ

一般会計845万円を追加補正

平成27年第2回定例会は、6月2日から18日まで、17日間の会期で開かれました。開会日に条例案2件、予算案3件、選任案1件、一般案件6件、請願3件、陳情2件が提出され、条例案は即日委員会審議及び採決、予算案は委員会付託、選任案及び一般案件はすべて即決、請願及び陳情は委員会付託されました。更に、18日最終日にも新たに条例案1件、一般案件2件、発議6件が提出されました。今定例会で成立した案件は、条例改正3件、補正予算3件、選任1件、一般8件、発議6件でした。また、請願3件、陳情2件を採択し、国会及び政府へ意見書が送付されました。一般質問は、今回から2日間に分けて行われ、12人の議員が村政全般について質問しました。

国保税4・9%引上げ

開会日に提出された、本年度の国民健康保険税の税率を定める条例改正案では、医療費の動向を勘案すると、現行税率のままでは財政調整基金から2000万円を取り崩してもなお、歳入不足が見込まれるとして、国保税を被保険者1人当たり4.9%引き上げる案が示されました。本改正案は総務産建委員会へ付託され、例年通り社会文教委員会との連合審査を行いました。審査の中で、医療費の動向や留保財源について、きめ細かに見極めて計算すれば、税額の据え置きが可能との意見が出されました。最終的に原案のまま承認され、直後に再開された本会議にて賛成多数で可決されました。

- ◎中央保育園の駐車場へ……………126万円
中央保育園に増設する駐車場ほかの設計監理委託料を追加するものです。
- ◎村道の緊急修繕へ……………819万円
村道全域にわたる緊急修繕の工事請負費を追加するものです。
- ◎胡桃沢線の緊急改良へ……………830万円
村道胡桃沢線の札場地区での緊急改良に係わる測量設計監督委託料30万円、工事請負費800万円を追加するものです。
- ◎河野区のAEDの配備へ……………110万円
河野区のAEDの配備へ……………110万円
- ◎学校の設備改修へ……………300万円
コミニティ事業で採択になつた、河野区内3箇所へのAED（自動体外式除細動器）設置補助を追加するものです。
- ◎北小学校の設備改修へ……………300万円
ブール北側の土留め用の壁及び給食配送に係わる改修請負費を追加するものです。
- ◎中学校のパソコン購入へ……………108万円
中学校パソコン教室の機器4台の購入費を追加するものです。
- ◎予備費へ……………3,649万円
歳入追加額と他の歳出項目との調整により、予備費を増額するものです。

補正予算 コミュニティ事業の周

唐澤(啓)議員 27年度のコミュニティ事業が550万円確定しているが、先ずコミュニティ事業とは何か。又、50万円の内訳は。

総務課長 宝くじの収益の一部が都道府県へ、そして各市町村へ、手を挙げている自治体にくるものである。27年度については上市場、北村自治会の机、イス等に100万円ずつ。社協のリフト車に180万円。河野区のAE-D設置に110万円。消防のホースに60万円で計550万円となっている。

各区、自治会等から出された要望についてはすべて県へあげている。

唐澤(啓)議員 社協のリフト車についてはこの事業の対象外と思う



6月28日 村操法大会

議員の意志表示一覧表（全員賛成除く）

<平成27年6月 第2回定例会>

○…賛成 ▼…反対

	件名	審議結果	竹村直子	滝川利秋	平澤恒雄	片桐忠彦	唐澤健	酒井浩文	吉川明博	松下亨	井原康明	片桐義憲	松村正三	唐澤啓六	川野孝子
条例	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	▼ ○
請願	安全保障関連法案を国会で成立させないよう要請する請願について	採択	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	安全保障関連法案を国会で成立させないよう求める意見書の提出について	原案可決	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(5)

の質疑から 知は各区、自治会へ

【コミュニティ事業とは何か】

II出された要望はすべて県へあげるII

唐澤(啓)議員 27年度のコミュニティ事業が550万円確定しているが、先ずコミュニティ事業とは何か。又、50万円の内訳は。

総務課長 村の事業を社協へ委託していることもあり、委託事業推進が。

進のため問題は無い。片桐(義)議員 コミュニティ事業について豊丘村は今まで各地域にいい結果をもたらしている。村がしつかり手を挙げているからと思うが、最近の近隣の

町村の状況は把握しているか。片桐(忠)議員 若い世代の住宅取得補助金1,000万円について、国からの補助がついたことで減額補正になっているが、事業についてはどうな

り越しで残っているので事業は現在も遂行している。唐澤(啓)議員 臨床心理士の報酬90万円の減額についてその原因は何か。

(6)

中央保育園駐車場、神稲児童クラブの増額の内容は

II駐車場は30台収容可能II

松下議員 中央保育園の駐車場の設計委託料121万6千円について内容は。

子ども課長 駐車場の面積は1823m²、552坪で30台収容出来る。木を植えたりフェンスを作ったりする。工事費は9月補正でと考えている。

松下議員 児童クラブの建築に伴うもので地盤調査に20万円。労務単価が従来の6%から8%に上がったことにより60万円の増額となった。

教育委員会事務局長 神稲児童クラブの増額の内容は。

(7)



6月27日 南小学校音楽会

(8)



村の駅とよおか(仮称)の資本金は 答 答えられる時期ではない

吉川 明博 議員

質問 前回の3月定例会の私の一般質問で、会の私の一般質問で、「特定非営利活動法人加工組合があちゃんの店」と「特定非営利活動法人だいち」の2つのNPOは、「解散の方向で同意を得ている」と私は受け止めているが良いか」との質問に對して産業建設課長は、「議論の中で解散して新法人と一緒に業務をとることは事実だ」と答弁した。確認はしていないということだ。2つのNPOが解散して、新法人と一緒に業務をすることをなぜ明確に認めないのである。

質問 3月定例会の私の一般質問で、「直売所は民間企業と商売の中でも競合する部分があるのでは、協力関係を持つべきだ」と提言されたが考えを。NPOの解散について村が言及することは行政の越権、法律違



ビニールハウス用材で造られている直売所きらら(北海道)

質問 資本金は国からの補助金が100%期待できる事業だと思う。しかし、先ずは民間に出資を募りその金額などを公表して、施設規模と資金のバランスを考慮し、正答な評価と判断をするよう求めれる。安定した運営ができる前に、統括支配人が

質問 発展的解消という言葉を持ち出して解散を強いる、強要することをやっている。NPOが解散して、新法人と一緒に業務をすることをやっている。NPOの解散について村が言及することは行政の越権、法律違

民業の圧迫について 答 非常に危惧している

(7)

質問 3月定例会の私の一般質問で、「直売所は民間企業と商売の中でも競合する部分があるのでは、協力関係を持つべきだ」と提言されたが考えを。NPOの解散について村が言及することは行政の越権、法律違

質問 資本金は国からの補助金が100%期待できる事業だと思う。しかし、先ずは民間に出資を募りその金額などを公表して、施設規模と資金のバランスを考慮し、正答な評価と判断をするよう求めれる。安定した運営ができる前に、統括支配人が

質問 活力を創出して、田舎に人口増を図る、若い人たちの働き場を作る。退職された方々が、年収入増というような場所を確保しながら提供していく。地域の活力

ると、私は言わざるを得ない。この質問を通告(6月2日)後の、この数日間のNPO法人との会合について説明を。会合の皆さんと議論したのは6月4日。改装オーブンの日、加工組合の方から村の産業建設課、村長・副村長も招待状を受け担当課の

質問 「私は知らないがた」という会員の方がいた。何千人もいる法

人ではない。今後の中で、発展的解消の方針を貫こうとするのであれば、細やかな説明を一人ひとりのNPO法人の加盟者に説明をされていかれたい。

質問 「私は知らないがた」という会員の方がいた。何千人もいる法

人ではない。今後の中で、発展的解消の方針を貫こうとするのであれば、細やかな説明を一人ひとりのNPO法人の加盟者に説明をされていかれたい。

質問 「私は知らないがた」という会員の方がいた。何千人もいる法

人ではない。今後の中で、発展的解消の方針を貫こうとするのであれば、細やかな説明を一人ひとりのNPO法人の加盟者に説明をされていかれたい。

一日目(6月12日)

① 吉川 明博 議員 (7ページ)

- ▼豊丘村6次産業化プロジェクトについて
- ▼村の駅とよおか(仮称)開設準備委員会の設置について
- ▼直売所の民業の圧迫について
- ▼直売所・新法人について

② 川野 孝子 議員 (8ページ)

- ▼統一地方選からの課題について
- ▼天竜川架橋の早期着工に向けての取り組みについて

③ 酒井 浩文 議員 (9ページ)

- ▼下平村政2期目の基本方針について

④ 唐澤 健 議員 (10ページ)

- ▼保育料の決定について
- ▼人間ドックの負担軽減と脳ドックの実施について
- ▼義務教育費の負担軽減について

⑤ 片桐 忠彦 議員 (11ページ)

- ▼リニア中央新幹線工事対策の取り組みについて
- ▼豊丘らしさの取り組みについて

⑥ 滝川 利秋 議員 (12ページ)

- ▼2期目の下平村長に望むこと



二日目(6月16日)

⑦ 平澤 恒雄 議員 (13ページ)

- ▼第5次豊丘村総合振興計画の推進について
- ▼地域包括ケアシステムについて

⑧ 唐澤 啓六 議員 (14ページ)

- ▼安全保障関連法について
- ▼介護予防対策について
- ▼国民健康保険事業について

⑨ 松下 亨 議員 (15ページ)

- ▼6次産業に伴う新法人設立と村の駅(仮称)計画について

⑩ 松村 正三 議員 (16ページ)

- ▼耕作放棄地、荒廃地解消と農業力UPについて

⑪ 竹村 直子 議員 (17ページ)

- ▼学校給食について
- ▼ふるさと納税の使い方について

⑫ 片桐 義憲 議員 (18ページ)

- ▼リニア工事に対する行政対応について
- ▼集団的自衛権行使について



(6)



下平村政2期目の基本方針は

答 住民や地域の自主的な取り組みを支援

酒井 浩文 議員

質問 下平村長2期目に向けての決意表明を聞きたい。

村長 まずはリニアの工事を住民の生活の安全等負荷を軽減する中で、工事の進捗を見守つていただきたい。次に6次産業の取り組みについても難しいから駄目と言わず、みんなで歯をくいしばって頑張つていきたい。

質問 今後様々なアート事業に関する動きがスピードアップし、同時に想定外の問題が発生することが予想される。住民生活や自然環境をどう守るか。また開通後を見据えた将来像をどう描いていくのか。

村長 問題は起きてきたときでないと分からぬのが現状である。

答 悪影響を最大限排除し、生活を守る
どう対処リニア工事



未来の主役は君たちだ！

質問 今後様々なアート事業に関する動きがスピードアップし、同時に想定外の問題が発生することが予想される。住民生活や自然環境をどう守るか。また開通後を見据えた将来像をどう描いていくのか。

村長 問題は起きてきたときでないと分からぬのが現状である。

質問 1期目は、ゆめあるでの建設をはじめとした、豊丘村のハーベスト事業が充実し、名実ともに豊かな村のベースができあがった。2期目はソフト事業の充実を掲げているが豊丘村の現状を踏まえ、どのようなソフト事業が不足していると感じ、またその展開において具体的にどのような分野の事業をどう進めて

いきたいと考えているのか。

村長 役場職員のモチベーションアップは引き続き進める。立ち遅れれている観光業の振興は積極的に進めた。福祉の充実は、先進事例を参考に新しいことをとり入れ試していく。また、住民や地域主体による自主的な取り組みは積極的に応援する。

答 そこに関わるすべての人人が充実感得られる活気ある場所をめざす
村の駅の理念は？

質問 6次産業化推進事業は課題が多い中進められている戦略的事業の一つであり、住民の関心も高い。しかし、その目的やプランだけを発信しても、理念がないと、この事業の本

質問 ふるさと納税を村のためにどう活かすか。寄付金の使い方をどう考えているか。

村長 豊丘村が元気になり、寄付していただいた皆さんも喜んで頂ける使い道を考えている。

質問 明るく元気な希望にあるれる村づくりに必要な感情は「わくわくときどき感」であると確信している。ここでさらに村民が心躍るような目玉事業があれば紹介を。

村長 豊丘村に来た方々が、気軽に遊びに来て泊まれるような場所があつたらしいなど



統一地方選の投票率低下の原因是

答 村長選が無かった事も

川野 孝子 議員

質問 4月に行われた村議選について、何点か選挙管理委員長に聞かたい。投票率について、前回平成23年の村長村議選は86.08%。今回は村議選のみで75.78%と10ポイント下っている。この投票率の低さについて、分析するとしても難しいから駄目といきたい。

選挙管理委員長 前回は三つともえの村長選とセットだったので、有権者の関心も高かつたと認識している。投票を棄権した人が1、いきたいと考へた。現在は車イスでも歩道整備をどのように行なうか。

質問 豊丘高森間の新橋についても地元の希望をと方向を固めている。用地測量は3月末で終了している。



天竜川架橋早期実現

質問 下平村長2期目に向けての決意表明を聞きたい。

村長 まずはリニアの工事を住民の生活の安全等負荷を軽減する中で、工事の進捗を見守つていただきたい。次に6次産業の取り組みについても難しいから駄目と言わず、みんなで歯をくいしばって頑張つていきたい。

質問 投票率の低さの原因は、投票に行きたくても行けない状況の中に、県道の歩道の歩きにくさがある。村は、県への投票に行きたくても行けない状況の中、県への歩道整備をどのように行なうか。

質問 昨年12月1日の数もかかり状況は厳しくなっているが、投票率に反映されない現実がある。

選挙管理委員会に於いても啓発活動を行つていているが、投票率に反映されない現実がある。

いのがネックになつている。

いる。

い。村長はどう理解しているか。

村長 宮ヶ瀬の架け替えを優先後、県も豊丘村の新橋について測量を含め取り組みを進めていると認識している。橋がかかるのに10年位と思っている。



天竜川架橋の早期着工に向けて

答 用地測量は終えている

天竜川架橋の早期着工に向けて

答 用地測量は終えている

質問 豊丘高森間の新橋については県も努力してくれているが、国の河川占用許可を得るのに年を要する。



高森町側の架橋推進の看板



リニア対策は近隣町村との組織化を

答 当面は今の体制で、その後必要に応じ対応

片桐 忠彦 議員

質問 リニア新幹線事業は本体工事のみならず、関連した工事も事業者側のペースで進んでいる。これらの工事の課題には、当村独自の課題から、各町村共通する課題等多種多様となっている。この課題を解決するには、各町村が、連携調整し統一した考え方で、対応する必要があると考える。

環境面での電磁波、騒音、日陰等を各町村でどの程度の対策を求めていくのか、トンネルから出た水の放流先



質問 生沢川は、豊丘と喬木に接し、この対策も互いどう考えるのか。これら統一した対応をするため、近隣町村が集まり対策委員会を立ち上げ、連携を強化し組織として要望していくことが重要と考えるが、村長の考えは。

答 河岸段丘に展望施設等整備を

質問 河岸段丘の何段か、又何か所かに展望デッキ、ポケットパークを作り、てっぺん公園と関連した段丘の整備をしてはいかがか。そこに段丘の成り立ちや、人々の歴史を掲示して、豊丘村の良さを将来につなげてく取組については、新たな公園に関連し、豊丘ならではの段丘整備をしてはどうか。この段丘を登る毎に伊那谷の見え方が変わってくる。下の段

質問 共有をしていく中で、複数の市町村で共に対応した方が有効だと思われる事項が明らかになつた時点で、県にも加わっていただき一緒にになって対処していく

豊丘村の河岸段丘

と想定される壬生沢川は、豊丘と喬木に接し、この対策も互いどう考えるのか。これら統一した対応をするため、近隣町村が集まり対策委員会を立ち上げ、連携を強化し組織として要望していくことが重要と

質問 河岸段丘の何段か、又何か所かに展望デッキ、ポケットパークを作り、てっぺん公園と関連した段丘の整備をしてはいかがか。そこに段丘の成り立ちや、人々の歴史を掲示して、豊丘村の良さを将来につなげてく取組については、新たな公園に

おいて本年度からリニアによる地域振興は、南信州広域連合で基本構想計画が策定されている。また北部事務組合に

べきと考える。リニアによる地域振興は、南信州広域連合で基本構想計画が策定されている。また北部事務組合に



保育料の決定に年少扶養控除適用を

答 保育料はふるさと納税で検討

唐澤 健 議員

質問 年少扶養控除を適用すると、12名が保育料の増額にならなかつたが、村民の利益第一に考えれば適用すべきではないか。

村長 保育料の軽減策か、扶養控除を適用する施策か、いずれかの軽減をする。

質問 阿南町、下條村では、人間ドックと脳ドックを2割負担、約8,000円で受診できる。村でも脳ドックの実施と負担軽減をされたい。

健康福祉課長 今年度から人間ドックの補助を5,816円から15,000円に増額した。脳血管疾患等生活习惯予防をして戴くと、1年1回を上限として、15,000円の補助を行うことを来

質問 義務教育費の負担軽減について見解を。教育長 憲法でも義務教育費はこれを無償化すると謳われている。で

きことは前向きに検討する。

質問 ふるさと納税を

答 ドリル代とテスト代全額補助
ドリル代等学級費の全額補助を

使うとおっしゃつていたので、ドリル代等の学級費の無償化を実施してもらいたい。

村長 本年度、小中学校のドリル代とテスト代全額を負担していく。

質問 義務教育の負担軽減で

の実施としては、年々要望して戴ければ良いと思つて

率のことは、年々要望して戴ければ良いと思つて

いる。年度から実施する。村長 今年は既に受診されている方がいるので不公平を避けると

が全国でも郡下でも広がっているので検討してもらいたい。また保育園のご飯を村で提供してもらいたい。

村長 まずは、保育園でのご飯の提供を検討している。他について

は、追々研究したい。

質問 給食費の無料化

が全国でも郡下でも広がっているので検討してもらいたい。

村長 まずは、保育園でのご飯の提供を検討している。他について

は、追々研究したい。



保育園の給食風景





「村の駅」何故、危険おかしてやるか

答 リニア時代には必要な施設

松下 亨 議員

質問 集団的自衛権行使を容認する安倍政権は、今国会で関連法の制定を目指している。これらの法案は、海外での軍事力行使に道を開く憲法違反の危険なものである。

村長 政府は憲法96条(改定手続)を変えてから9条の改定にとりかかりたいと考えている。

質問 この計画は現在開設準備委員会等で検討されているが、次の事項について質問。

①新法人設立とスケジュールは。②出資金目標額と村の出資は。③建設場所、交通量調査等の市場調査、部門別の收支見通しは。④補助金申請や建物建設、開業の時期は。法人の役員体制は。⑤赤字の場合の村から補てんや債務保証は。⑥経営破綻の場合、村長の政治責任は。

産業建設課長 質問事項の多くは、事務局原案はあるが、現在、開設準備委員会で検討中なのでこの場では控えたい。なお、補助金申請は来春、設計は28年度、建設は28・29年度、開業は29年秋を目指している。

村長 村長の政治責任は、木島平村では推進した村長がこの春の村長選挙で大敗した。選

質問 この事業の先輩格である木島平村を議員8名で視察してきた。この5月に開業したが、閑散とした状況。村長が強引に始めた結果、村民の協力が得られず、村担当者は「打つ手がない」とのこと。行政

産業建設課長 これまでこの公明会は9月頃になれるというが、これで合意形成が図られると考えるか。

短期間に「住民合意」は得られるか

答 9月頃には公聴会をやり合意を得る

質問 この計画は村の財政リスクが高い事業である。住民自治は、合意がないまま進めば、住民の「意志」と「責任」と言われる。住民の「意志」が反映されない半面「責任」のみ被ることになる。住民説明会は9月頃になれるというが、これで合意形成が図られると考えるか。



利用しない村民出展ブース（ファーム木島平館内）



安保関連法は廃案にすべき

答 しっかりと慎重審議が必要

唐澤 啓六 議員

質問 集団的自衛権行使を容認する安倍政権は、今国会で関連法の制定を目指している。

外での軍事力行使に道を開く憲法違反の危険なものである。

村長 政府は憲法96条(改定手続)を変えてから9条の改定にとりかかりたいと考えている。

たが大きな反対にあつた。そこで、内閣法制局の判断による集団的自衛権行使容認を閣議決定し、憲法に手をつけずにやろうという状況であり、多くの憲法学者が違憲と言っている。私も多分そうなんだろうと思う。しつかりと慎重審議が大事だと思っている。

次予防対象者)への身体機能維持の取り組みは、介護予防の観点から重要な課題である。

法士による転倒予防教室を6月から10月まで週1回、11月以降は月2回実施していく。

又、入浴介助を引き受け地域包括ケアの充実を図っていく。

先進地視察と村内関係業者へのアンケートを実を図つていく。

準備の第一歩として、先進地視察と村内関係業者へのアンケートを行いたい。また、介護予防サポート育成講座も8月以降で実施していく。

健康福祉課長 「総合事業」については、28年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

準備の第一歩として、先進地視察と村内関係業者へのアンケートを行いたい。また、介護予防サポート育成講座も8月以降で実施していく。

質問 ハイリスク者(2

次予防対象者)への身体機能維持の取り組みは、介護予防の観点から重要な課題である。

法士による転倒予防教室を6月から10月まで週1回、11月以降は月2回実施していく。

又、入浴介助を引き受け地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

国保税滞納者へ配慮を

答 滞納額が増えないよう配慮したい

明をしているのか。

(14)



介護予防「コロバン墊」

質問 有効期限1ヶ月という超短期の被保険者証の発行はとりやめ、3ヶ月以上にすべきである。又、国保税減免は、ハイリスク者の把握とりハイリスク等の具体的な対策は。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

準備の第一歩として、先進地視察と村内関係業者へのアンケートを行いたい。また、介護予防サポート育成講座も8月以降で実施していく。

質問 ハイリスク者(2

次予防対象者)への身体機能維持の取り組みは、介護予防の観点から重要な課題である。

法士による転倒予防教室を6月から10月まで週1回、11月以降は月2回実施していく。

又、入浴介助を引き受け地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六 質問 第6期介護保険事業の中で、介護予防対策は重要な課題である。軽度者及びハイリスク者への対策の中心となる「総合支援事業」への移行は28年度としているが変更はないか。

具体的には、
スケスケ者への対策の中
心となる「総合支援事業」
への移行は28年度とし
ていてが変更はないか。
移行までの取り組みの具
体策は。

健康福祉課長 「総合事
業」については、28
年度で移行できる事業

を実施し、その結果をふまえて29年度で事業を確立し、第7期に向けて地域包括ケアの充実を図つていく。

唐澤 啓六



ふるさと納税で雨水タンクの設置を 答 コンポスト同様に補助金対応なら

竹村 直子 議員



質問 ふるさと納税の具体的な使い道は。

村長 寄付いただいた方の希望する5つの応援メニューごとに、それぞれ使いたい。だんQくんにお任せコースでは、りんごっこ公園整備、自主防災組織事業、水路改修事業、拡充事業、てっぺん公園整備、水路改修事業等。やり過ぎはよくないが、バランスの良い使い方を考えたい。

提案 上水道の水源現状や非常時の水確保を鑑み、雨水タンクを活用したい。

学校給食の現状は 答 米・アスパラ・タケノコ： 地元食材を活用

質問 ふるさと納税の具体的な使い道は。

村長 寄付いただいた方の希望する5つの応援メニューごとに、それぞれ使いたい。だんQくんにお任せコースでは、りんごっこ公園整備、自主防災組織事業、水路改修事業、拡充事業、てっぺん公園整備、水路改修事業等。やり過ぎはよくないが、バランスの良い使い方を考えたい。

提案 上水道の水源現状や非常時の水確保を鑑み、雨水タンクを活用したい。

質問 学校給食に、お米と松茸以外の豊丘産の食材は使われているか。給食の食べ残しから給食の食べ残しによる食品ロスと、給食費を払わない家庭はあるか。

村長 アスパラガス、タケノコ、他野菜は、グリーンベースや、大根を取り合い、なるべく地元の野菜を使うようしている。また、加工組合から

設備開発事業への助成を行つてはどうか。

村長

斬新な発想。補助金を出すなら良いかも。研究させて。



給食の配膳風景

飯田市で多く使われている雨水タンクは、福神漬け、アップルコンポートを通年買っている。年度末会計に余裕があればすあまやアップルパイ等も買っている。地元食材を出来るだけ多くする

よう、今後も努力をしたい。給食センターの方には、少人数の中でも時間に追われながら700食を美味しく提供してもらっている。食べ残しはあり、現在喬木村のアースクリーンという会社で100%堆肥化している。新しい給食センターになる

新学期からは、処理機を導入して処理をする。給食費を払えないという事例が平成26年度あつたが、既に解消している。要望 払えない家庭に何かができることがあればお願いしたい。



農地保全と農業力向上の体制づくりを!! 答 プロジェクト体制を整え進める

松村 正三 議員



返礼品確保は新システムで 桃6月下旬撮影

質問 ふるさと納税、26年度4億円余と急激な伸び、伸びたものは必ず落ちる。

とは言え、一定程度億単位での寄付は有り得るし、続くと思うが、今後をどう見通すか。

総務課長 今年度も昨

質問 ふるさと納税、年度並みの4億円の金額にはなると考へている。

今後重要なのは、地元産農産物をお礼品とすることにより、リピート率を向上させていくこと。

質問 ふるさと納税の激増による果物の需量が予想をはるかに越えることを承知した上で、村、農協、だいの3者で、どのように集荷システムを確立していくかまとめて来た所だ。

産業建設課長 返礼品の確保は、村にとって大きな課題、桃については豊丘村の容量オーバー、ナシ、りんごも同様に荷が集まらない現実がある。

質問 減る農地、減る担い手。

返礼品の確保はもとより、6次産業化に向けて、生産物量を増すための農業力向上のため村は農協、農技連等の協力を得て、そのための体制づくりを、ために農業力アップへの取り組みを進めて参りたい。

農家、そして新戦力も取り込んで、早急に行う必要があると思うが。

村長 ふるさと納税の需要は、すでに6次産業化をスタートさせていると言つて良いと思う。

この物流を農家に反映させていくことが大事。

需要に合わせて追

質問 ふるさと納税の需要は、すでに6次産業化をスタートさせていると言つて良いと思う。

この物流を農家に反映させていくこと

が大事。

需要に合わせて追

が。農家、そして新戦力も取り込んで、早急に行う必要があると思うが。

村長 ふるさと納税の需要は、すでに6次産業化をスタートさせていると言つて良いと思う。

この物流を農家に反映させていくこと

が大事。

需要に合わせて追

いたずらに農家の生産意欲のわく仕組みを構築し、その確保に取り組みたい。

そこで農協の協力を

返礼品の確保が大きな課題

－ふるさと納税急増で－

必要なのは農業力アップ

－不足する農産物量－



前を見据えてプランが進む田村原団地

リニア特別委員会

明を受け確認しました。中心線測量は、路線の中心位置を示す作業で、地権者の許可を得た私有地などに中心の位置を示す杭や標識などを打ち込みます。

6月1日の委員会では、去る3月16日の委員会で示された中電の「リニア工事に向けた工事用電源を供給する」配電線工事計画とは別に、「運転に必要な電源を供給する」電力供給設備計画の報告を受けました。この計画は、R東海が行うリニア工事とは全く別の工事であり、電気使用の申し

が、リニア運転に必要な電力を供給するために行うもので、南信幹線からの電力を上佐原に設置予定の変電所を経て、JR設置の大鹿と豊丘の変電所2か所へ鉄塔を設置し供給するというもので、上佐原へ新設される変電所はおよそ約8～9万瓩



壬生沢のリニア中心杭

想定外の工事計画示される ・・・リニア特別委員会の活動報

リニア特別委員長 酒井浩文

改選後初の委員会
が、5月8日に行われま
した。

物の設計や必要な用地幅の検討を進める計画で、住民への説明会を行う予定です。

問い合わせし、口心綱（元）
は壬生沢山中にも設置
されているとの回答が
あり、今後トンネル区間
においても順次測量が
進められる計画です。

佐原へ8町歩の変電所

は60メートル規模30基という大規模な工事となります。この工事については該当区・自治会で中電による説明会が開催され、各会場より質疑要望が出されています。委員会からの意見として、JR・中電それぞれに計画が出されるため、今後工事計画を集約し、元化した周知ができるないか等、次の課題となりました。

6月11日の委員会では、前回課題となつた点の回答および、近隣発生土処分地等の進捗状況報告等を受けました。（以下概要）

・松川町内の発生土置場は、生田地区で現在環境影響調査実施中。

佐原地区（6月3日）で出された意見質問事項については後日回答とします。

洗い出しと進捗状況



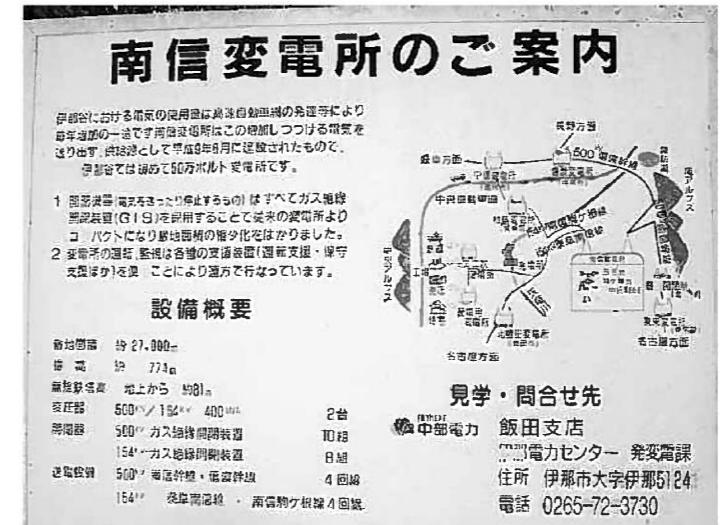
リニア工事 早期の情報開示を求む 答 一体的・迅速対応を要請

同義審議員

質問 リニア運行用の電源確保の為、新たな変電所と送電線の建設計画を5月11日、中電より村に知らされた。村関係住民には、まったくの寝耳に水であった。

JRは、「この変電所については、鉄道施設では無く、電力の供給方法や、それに伴う設備に関してはコメントできる立場ではない」

建設での一体的施設であり、工事全体計画の中で、早いうちから示されるべきであつて、今日の様な、住民の不安、混乱を招いたことは大変遺憾に思う。



駒ヶ根市由沼の南信変電所の概要



上佐原よりひと回り大きい駒ヶ根市中沢の南信電所

刻みで断片的、時期遅れての情報提供では、工事全体像を把握しづらく、村、関係住民は一層困惑とJRに対する信頼感を損ねる。今後は、情報提供の仕方にについて村は、JRに対し、改善を要請する必要があると思う。

質問	答
使について見解は。	戦争にならない為の手法の違い のオペレーションの違いがあるとも理解して

説明会や、対策委員会等へは、JR、中電両者の前段会議や協議調整する中で提示していく様要請した。今

後、受け元ゼネコンと下請け工事も同じこと。早い情報開示を要請しスムーズ、早急な解決策を講していく。

かわいのページ

シリーズ 私がんばっています



中川伸一さん
(地蔵道)

ツーリングで助成金を

私は河野工建機工事の仕事を頑張り続けています。この10数年前位から、私達職人の仕事は、全国的に減少傾向にあります。

た。それでも、飯下建設産業本部へ就職して、村ぐら

何とかして頑張らないかと、平成21年から腰痛致して来ました。23年の4月から、長野県初のツーリング助成金事業を実施して腰の痛みが軽減されました。この出来

を利田しての村ぐらの仕事内容は増加傾向にあります。私達職人は益々多いです。

50社以上の会員が登録されております。これからも村の活性化につながると思います。村議会、商工会等へ賛同して頂きました。感謝致

申します。私は腰痛の治療費

分のだれもがマッチ商

品券を頂戴しました。

事例で増加傾向にあります。私達職人は益々多いです。

うます。登録事業者

でねつねつし、これからも村の活性化につながる

と思います。村議会、商工会等へ賛同して頂

きました。感謝致

発行責任者	
議長	下平 豊久
委員長	平澤 恒雄
副委員長	竹村 直子
委員	片桐 忠彦
委員	滝川 利秋
委員	川野 孝子

編集後記

7月になり梅雨らしい雨天が続きました。当村は、地下水を上水道に利用しているだけに、水不足を心配しました。6月でしたが、ホッとしました。

裏表紙は、宮下広美さんのさくらんぼです。今年は、生理落葉で実が少なかったそうです。自然相手の農業は、毎年同じような出来にならず、なかなか思うようにいかないようです。子育てと同じでしょうか。

定例議会が閉会しホツとしたのも束の間、議会だより作成に追われました。隅々まで読んでいただけると、嬉しいです。（竹村直子）